



柿崎直治

# ロープウェー事業所の 民間貸付について

一

般

質

問

くなってきたのが現状です。しかし観光の町湯沢にとってはロープウェーの発展的継続は不可欠であり、魅力ある観光施設を存続するためには計画的な設備投資が必要であることから、それが可能な民間への貸付を選択したところであります。

**質問**  
民間貸付を一社に選択した理由は何か

**町長答弁**  
一般公募、指名競争、単独指名などについて検討しましたが、公募には限界があることから断念し、公営企業の歴史と理念を継承できる企業として湯沢町との係わり合いが強い日本ケーブル(株)を選定しました。

**質問**  
民間貸付に関して町民への情報提供が不十分であったと思うが如何か。

**町長答弁**  
すでに方向が決まっていた中での引継ぎでありましたが、町民代表である議会の全員協

議会で考え方を説明しご意見をいただきながら進めてきたところであります。その他、町民説明会、企業運営委員会、商工会、観光協会の各役員への説明会、広報などでお知らせをまいりました。情報提供が不十分であったと言われていることに関してはお詫びしなければなりません。大方の方からは理解を得られたと考えている次第です。

**質問**  
布場スキー場、ファミリースキー場の土地賃借問題が解決されない現状で協定書の締結を急ぐことは疑問であるが如何か。

**町長答弁**  
ファミリースキー場土地組合に関しては町が認める第三者には使用を認めるという回答を得ており現在作業を進めております。布場土地組合に関しては組合の方向性が出された時点で話し合いを進めていきたいと思っております。

**質問**  
ロープウェー職員は現在

16名。聞く所によると大半の職員の方は本庁に戻ってくるこのことです。職員には行政職1と2の職員がおり、それら職員の今後の処遇をどう考えているか。

**町長答弁**  
大多数の職員が町職員としての身分のままで残ることを希望しておりますので、本庁を含めた役場関連職場への異動対応となります。行政職1、2の職員のそれぞれの職責に合わせた職場への配置転換を行うつもりです。現在欠員になっている職場への補充を始めとし、住民サービスのより向上ができるような配置を考



4月から民間への貸付が決まったロープウェー事務所

えてまいります。最後に資料としてお渡しした私のロープウェー問題に対する町民の皆様のアンケートをご覧になって今後の参考にされることを希望してこの質問を終わります。

役場内正面に総合案内係を設置して住民サービスの向上を図るべしと考えるが如何か

**質問**  
先日、広報委員会の視察研修で北蒲原郡の聖籠町を訪問したが、その際、庁舎内正面に総合案内係が設置されている訪問者に対して適切な案内をしていたことが印象に残った。住民への行政サービスの一つとしてわが町も設置すべきと考えるが、町長の考えは如何か。

**町長答弁**  
来年度は大規模な機構改革が実施され、ある程度の混乱も予想されますので、総合案内係の設置も検討課題として対応を考えてまいりたいと思っております。